

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	大腸癌肥満症例における開腹 vs 腹腔鏡手術の検討
	研究対象者	2006年1月から2021年12月に当センター大腸外科で原発切除を行った pStage I-III 大腸癌手術症例。 そのうちの BMI \geq 25 の肥満症例を対象とする。
	研究目的	近年では大腸癌に対して腹腔鏡手術（ロボット手術含む）が標準となりつつある。また、最近では肥満症例の割合が増加しており、大腸癌においても肥満症例が増加しています。 腹腔鏡手術では出血量の減少や術後の早期回復などの利点が指摘されていますが、肥満症例の腹腔鏡手術では術後合併症や開腹移行が多くなるとの報告もあり、大規模臨床試験でも肥満患者に対する腹腔鏡手術は課題が残るとされています。 本研究では大腸癌肥満症例における腹腔鏡手術と開腹手術との短期・長期成績を比較し、腹腔鏡手術の有用性について検討を行います。
	研究方法	対象者を開腹群と腹腔鏡群とに群別し、患者因子や手術に関わる因子、組織学的因子、短期成績（術後合併症・在院期間）や長期成績（再発の有無・生存期間）などについて比較検討します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 26 日 ~ 西暦 2024 年 12 月 31 日
利用する試 料・情報の項 目(チェック[X] が入った項目を 利用します)	<input type="checkbox"/> 試料:	<input type="checkbox"/> 血漿、 <input type="checkbox"/> 血清、 <input type="checkbox"/> 全血、 <input type="checkbox"/> 末梢血から抽出した DNA、 <input type="checkbox"/> 病理検体(具体的に記載: _____)、 <input type="checkbox"/> 尿、 <input type="checkbox"/> 糞便、 <input type="checkbox"/> 唾液、 <input type="checkbox"/> 胸水、 <input type="checkbox"/> 腹水、 <input type="checkbox"/> 脳脊髄液、 <input type="checkbox"/> 毛髪、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報:	<input checked="" type="checkbox"/> 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢、 <input checked="" type="checkbox"/> 性別、 <input checked="" type="checkbox"/> 既往歴、 <input checked="" type="checkbox"/> 併存疾患、 <input checked="" type="checkbox"/> 外来日・入院日・退院日、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査値、 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 <input checked="" type="checkbox"/> 看護記録 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に記載: <u>手術に関連する項目</u>)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 大腸外科 塩澤 学
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 大腸外科 塩澤 学 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2023年7月31日までお願いいたします	